

## E-CAT の活用

E-CATは様々な場面で活用されています。



### 1 個人で

- ・英会話能力の測定をする
- ・各種検定試験の事前練習として
- ・英会話の練習教材として

### 2 企業で

- ・英会話力向上の指標として
- ・採用基準のひとつとして
- ・昇進基準の目安として
- ・海外向け部門や業務への適応力チェック
- ・英語の社内公用語化向け促進素材として
- ・社内の英語研修結果の評価として

### 3 学校で

- ・入学や進級時のクラス分け等、プレースメントテストとして
- ・海外研修前後の英会話力の効果測定として
- ・英語教員志望者の会話力テストとして
- ・インターンシップ希望者の実力判定として
- ・大学入試 4 技能対策として

### 4 塾 / 予備校 / 英会話学校で

- ・入学や進級時のクラス分け等、プレースメントテストとして
- ・海外研修前後の英会話力の効果測定として
- ・英語教員志望者の会話力テストとして
- ・インターンシップ希望者の実力判定として
- ・大学入試 4 技能対策として

**E-CAT**  
受験料金

**4,500円** ※ ~

※税別 団体受験 電子スコアレポートの場合

**E-CAT 解答サンプル動画公開中!**

英語学習なんでも情報サイト

えいごism

eigoism.jp

E-CAT 受験に役立つ情報が満載!



お問い合わせ ▶▶

**E-CAT事務局** (株式会社 iTEP Japan)

**Tel. 03-6265-3430** Fax. 03-3513-4512

受付時間 10:00~17:00 \*土日祝日・年末年始を除く

**www.ecatexam.com**



「ペーパーテストでは英会話の能力が伸びない」  
と悩んでいるみなさんへのソリューション。  
**E-CAT**なら、本当に英語が話せるようになる!



**E-CAT** (English Conversational Ability Test)  
国際英語会話能力検定



# 本当に英語が話せるようになる検定、それが E-CAT です。

## E-CAT の6つの特徴

### 1 簡単

E-CATは、コンピュータベースで行うオンラインのスピーキングテストです。会社や自宅のPCから、どなたでも簡単にテストを受けることができます。

### 2 便利

E-CATの評価は、CEFR※と対照できるようデザインされています。ですから、iTEPはもちろん、TOEIC SpeakingやTOEFL iBTなど、他検定とのスコア対照も可能です。(右下対照表参照)

### 3 信頼

E-CATは、米大学や高校留学に使われている4技能英語能力テスト(iTEP)を開発したiTEP International社で開発されました。世界の政府機関や企業でも採用されているのがiTEPです。

### 4 ストレスフリー

E-CATは、静止画像のナビゲーターが優しく語りかけながら進行します。通常の会話テストであるような緊張感はなく、リラックスして最大の力が発揮できます。

### 5 多様な設問

E-CATは、スピーキング初級者の方にも安心して受けていただけるパート(設問)をご用意しています。発話のモチベーションにも繋がる、それがE-CATです。

### 6 反復

E-CATではいつでも気軽にできる練習用動画をご用意しています。日常の少しの時間を利用して、繰り返しスピーキングの練習をすることが可能です。

## E-CAT テストの構成

E-CATは6つのパートでできています。各パートは実際の会話に役立つ実践的な内容で構成されています。それらを時間内に答えることによって英会話能力を測ります。

	パートの狙い	問 題	評 価 ポ イ ン ト
Part 1	きちんと自己紹介ができるかを試します。	60秒で自分のことについて話します。パート1に限っては、問題はいつも同じです。	解答の内容よりも、発音やイントネーションを重視して評価を行います。60秒の時間をどれだけ有効に使うかも、評価のポイントです。
Part 2	聞きやすい英語を話しているかを試します。	音読問題です。80~100ワードほどの英文が画面に表示されますので、それを音読します。	発音やイントネーションを評価対象としています。聞き手(採点者)が、きちんと聞き取ることができるかで採点されます。
Part 3	自身の身の回りのことを話す力を試します。	食べ物、友達、住んでいる家など、身の回りのさまざまなトピックについて、3つの質問が出ます。30秒を有効に使い答えます。	どれだけの確に設問に返答しているかどうか、評価ポイントとなります。
Part 4	自分とは別の世界のことを話す力を試します。	写真に写っている物品、人、状況などを説明します。2枚の写真に対して3つの質問が用意されています。30秒でそれぞれの写真の質問に答えます。	発音、イントネーション、単語の使用幅、返答の妥当性などが採点のポイントです。
Part 5	資料をもとに話す力を試します。	メニュー、予定表、時刻表などの資料を見ながら、それに関する3つの質問に30秒で答えます。ごく基礎的な読解力も必要となります。	発音、イントネーション、単語の使用幅、返答の妥当性などが採点のポイントです。
Part 6	論理的な話ができるかを試します。	2問出題されます。1問目は単純な質問に対し、理由も含めた明確な答えを提示します。2問目は、ある論題に対して、賛成か反対かを表明した後に、その理由を論理的に説明します。解答時間はそれぞれ60秒です。	パート5までの評価ポイントに加え、パート6ではあなたの発話が論理的であるかどうかの評価されます。

## E-CAT のスコア

採点は1点刻みで、100点満点です。スコアレポートには、点数だけでなく、CEFR※に準拠したE-CATレベル(1~5)も記載されています。

スコアレポートは英語での提供ですが、webでは日本語の「スコアレポートの見方」がご覧いただけます。

[スコアレポート見本]

1

Score: 47 (CAT Level: 2) (A1 BEGINNER (CEFR))

Collier, Rich

2

Score by Skill

3

STUDY GUIDE

Linguistic Accuracy

Verbal Fluency

Vocabulary Range

Content

2ページ目と3ページ目にはスキル別の詳しい説明とスタディガイドが記載されています

1

Score 47

100点満点の47点です

2

E-CAT Level 2

E-CAT のレベルは 2 です

名前: Collier, Rich

生年月日: Apr-07-1955

テストID: RCtestEPO

テスト実施日: Jul-01-2016

テストの種類: E-CAT

Great job! You are successfully speaking in English. Much of what you said was understood, especially the phrases you are comfortable saying. It takes a lot of effort for you to speak English. Unfamiliar topics can be too difficult to talk about because you are still building your vocabulary. Overall, you are at the Elementary level. Well done!

評価に対するコメント

E-CAT 評価と主要検定試験の対照表 (参考)

多技能検定との比較 (参考)

C2		80 79		9	5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
----	--	----------	--	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※ CEFRとは、Common European Framework of Reference for Languagesの略称で、語学のコミュニケーション能力を評価する国際基準規格として、欧米で幅広く導入されています。Aが基礎段階の英語使用者、Bが自立した英語使用者、Cが熟達した英語使用者とランク付けされます。

※※ CSEとは、CEFRのA1レベルからC2レベルまでの範囲を、「スピーキング」「ライティング」「リーディング」「リスニング」(以下、「4技能」)を各1000点満点とし、合計0点から4000点スコアに尺度化したもの。CSE2.0は、さらに制度を向上させたものです。(公益財団法人 日本英語検定協会の説明文より抜粋)